

僕は「書道家」として、日頃お仕事をさせて頂いています。具体的な仕事内容は、お家やオフィスに飾る書作品のオーダー頂き、書いて納めたり、書道教室の生徒さんに書の技術や知恵を伝えて、お月謝を頂く。他には企業のロゴや商品のロゴのオーダーがあります。たとえばスーパーコンピュータ「京」のロゴや、NHK大河ドラマ「天地人」などの題字は多くの人が目になっているかもしれませんが、イベントに呼ばれて大きな書を書いたり、講演会や本の執筆、メディア出演などを行っています。大企業をやめて書道家としてスタートしたのが二五歳。一六年前になりました。母親から一〇〇万円を借りて貯金していた一〇〇万円を足して、二〇〇万円の資金で湘南は辻堂の築一〇〇年近い日本家屋を借りて教室をスタートしました。しかし生徒さんは集まらず、お金はどんどん減るばかり。時間だけが余っていたので、お店が閉まった商店街のようなところでゴザを敷いてストリート書道を開始しました。このストリート書道で人生を変えるような体験をすることができました。ゴザを敷いて作品らしきものを地べたに並べてお客さんを待っていても誰も足を止めず。話しかけ



絵・江口修平

お金と心構え

武田双雲

てくられても緊張して、うまくコミュニケーションが取れず。焦りは増すばかり。お金もないから、お客さんからお金をもらいたいとか、バカにされたくないとか、失敗したらどうしようとか、邪心が心を支配しはじめます。するとやはりうまくいかない。そしてだんだん諦めにも似た気持ちになって、静かに目の前を通る人々を眺めています。ポーツと眺めていると、だんだん「あの人はどんな気持ちで生きているのだろう、なんか辛そうだな、僕の書で元気になってもらいたいな」というような気持ちが湧いてきました。すると不思議と人が足を止めるようになり、「書いてください」と言ってくれるようになり、書いたら涙を流してくれる人まで現れました。僕はハッと気づきました。僕の心の変化と起こる出来事がリンクしていることに。お金や様々な心配を減らし、自分と人の心を整えることに集中するほどに、あらゆることがかうまく流れるようになりました。お金も書の作品もつまりは「心」が重要だということに気づくことができました。心構えが美しくなるほどに、お金だけでなく人間関係や健康などの流れがよくなるということを。それから心を整える修行の旅がはじまりました。

ただ・そうん●書道家。1975年熊本県出身。NHK大河ドラマ「天地人」など数々の題字を手掛ける。著書も多数出版。『ポジティブの教科書』（主婦の友社）は30万部突破。2013年度文化庁から文化交流使に任命され、ベトナム・インドネシアにて活動するなど、世界に向けても日本文化を発信。公式サイト：<http://www.souun.net/>

